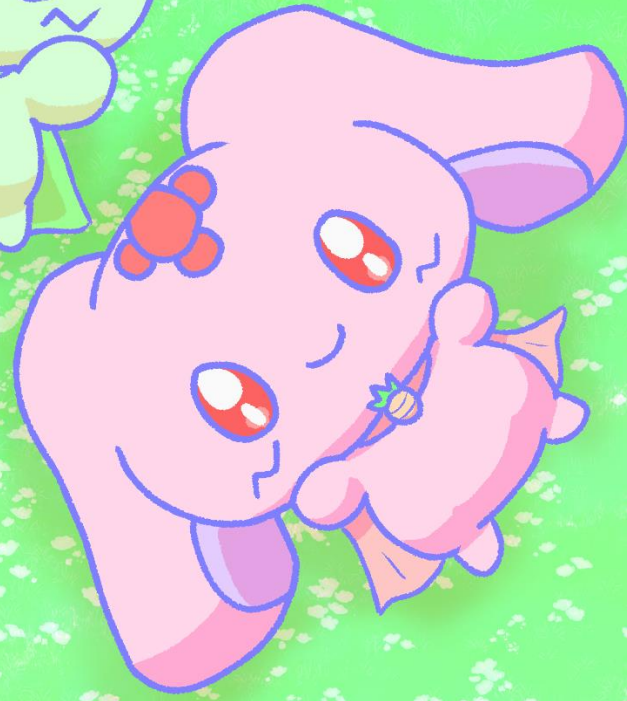


1

「メスケモTDMになっちゃった!」



はる なつ あき ふゆ

春 夏 秋 冬



てん せい

アニマル 転生

春夏秋冬☆アニマル転生 1 目次

あらすじ	………	3
アニ転1…メスケモTDMになっちゃった！	………	5
アニ転2…兎は発情するものでしゅ！	………	製品版に収録
アニ転3…この事実は変わらないんだよ♪	………	製品版に収録
アニ転4…あたしも頼っていいんだぞ	………	製品版に収録
アニ転5…もう一生離さないのです！	………	製品版に収録
アニ転6…マカロン好きなの？	………	製品版に収録
アニ転7…あたちはこれでもリーダーでしゅ！	………	製品版に収録
アニ転8…私は何も知らないよ♪	………	製品版に収録
アニ転9…発情だにゃ〜ん	………	製品版に収録
あとがき	………	19

※キャラクター紹介は各話の間へ掲載しています

お試し版では2キャラ分掲載しています

原作・キャラ原案…ぷりん

イラスト…Adzuki.

※この作品はフィクションです

実在の人物・地名・団体等とは一切関係ありません



あらすじ

正義感の強い男、雪。

遭難者の捜索中に雪崩に巻き込まれて、彼の意識は途絶えてしまう。

次に目が覚めると、目の前に「でしゅでしゅ」言っている変な生物が居た。

春の兎マスコット「はなちゃん」に手を差し伸べられ、雪は色々やり取りをして
いると……何だかおかしな事になっている事に気付く。

何と自身の体もはなちゃんのような変な生物になっていて、しかも女の子になっ
てしまっていた。

猫のメスケモTDMとなってしまうたゆきちゃんは、アニマルスターでの春夏秋冬
冬マスコットの冬担当として。

魔法少女のお供のマスコット候補生として、アニマルスターでの第二の人生を送
る事になってしまった。

キャラクター紹介..ゆきちゃん

アニマルスターの四季マスコット「冬」担当の猫。

中身は「雪」と言う元人間の男で、意識を失ったら何故かこの姿になっていた。

正義感が強いからなのか、嘘を付くのが苦手なようだ。

はなちゃんとしいちゃんに物凄く好かれていて、あたふたする事も多い。

しかしゆきちゃん自身はなっちゃんにお熱のようだ。

 ゆきちゃん





ア二転1

「メスケモTDMになっちゃった!」

「気が付いたでしゅ？」

「ううっ、僕は一体……それにここは」

「僕？ あれ、あなた女の子じゃないのでしゅ？」

「おかしい、夢でも見ているのかな。何か変なちっこいのが喋ってる」

「変なちっこいの？ 何処に居るのでしゅ？」

「今日の前でしゅでしゅ言ってる」

「そうなんでしゅ？ って、あたちの事でしゅー!？」

気が付くとふよふよとマントを揺らして浮いている、変なちっこい生物。

顔に対して少し大きめな耳が垂れていて、額にはお花のような模様。

パッチリとした赤い瞳で、胸元にはんじんっぽい装飾。

どうやら兎なのでしょうか？

しかし二本足で立ちそうな体をしていて、四つん這いで地面を這ってそんな感じはしません。

とてもこの世のものとは思えない生物に遭遇して、男は何が何だか分からず夢と解釈しました。

「他に誰が居るの？ うん、でもどうせ夢だ。こんな変な生き物、居る筈がないもの」

「あたちの事をバカにするでしゅか！？ はな、ぶんぶんでしゅよ！」

「はなちゃんって言うの？」

「うん、あたち、はなって言うでしゅ」

兎のような良く分からない生物は「はな」と名乗りました。

「もしかしてあなた……別の世界から来たでしゅ？」

「別の世界？ 一体何を言ってるの？」

「日本って分かるでしゅ？」

「分かるも何もここ、日本でしょ？」

「違うでしゅ。ここはアニマルスターでしゅよ？」

「アニマルスター？ えっと、動物の星？ 森の方じゃなくて？」

「森って何の事でしゅ？ アニマルスターでしゅよ」

変な兎が言うには、ここはアニマルスターと言う所らしいです。

「うん、でも確信でしゅ。あなたが日本を知っていると言う事は、つまりそういう事でしゅね」

「そういう事って？」

「あなた、日本から何かしらの理由でこの世界へ来たでしゅね？」

「何かしらの理由？」

「そうでしゅ。何か心当たりがある筈でしゅ」

「心当たり……そういえば」

「何か思い当たったでしゅ？」

「何だか凄く、おしっこがしたい」

「だーっ！ でしゅ……すぐ後ろの広場におトイレあるから行ってくるでしゅ」

兎に言われて男はとりあえずトイレへ向かいます。

「あれ、それにしても何だかやけに視界が低いような。まあいいや、トイレを済ませちゃおう」

個室に入ってズボンを脱ごうとすると……。

「あれ、僕ズボン穿いてない？ パンツすらも……何で？ 良く分からないけど、とりあえず我慢できないから出しちゃえ」

そして用を足そうとすると……。

「何この感覚。え、ナニ……付いてない！？ 何かおしっこの出方が変だよ！？」

あたふたしながら便器の中に目を向けると、変なちっこい水色っぽい生物が水に映っていて……。

「何だこのちっこいの？ って、おしっこ出してる……え！？ これ、僕！？」

水色っぽい変なちっこい生物は、まさに今トイレで用を足しています。

「と言うか僕しか居ないよね。夢……にしては感覚がリアル過ぎない？ あれ、そういう僕、目が覚める前確か……」

水色っぽい変な生物は、アニマルスターで気が付く前の事を思い出していました。

日本の何処にでも居そうな、正義感の強い男。

ヒーローみたいなビッグな男になりたくて、日々正義感を抱きながら毎日を送っていました。

その日、日本は数百年に一度レベルの大豪雪に襲われていました。

そして男はスマホを弄っていると、近くの山で遭難者が出ているとの情報を耳に挟みます。

正義感の強い男は居ても立っても居られず、大雪の中家を飛び出して捜索に向かいました。

「おい、居たら返事をするんだ！」

男は大雪の中、歩きづらい山の中を必死に声を上げながら捜索します。

すると山の上の方から何やら凄惨な音が聞こえてきて……。

「まずい！ 雪崩が発生した！？」

それは一瞬の出来事で、沢山の雪が男の目の前から押し寄せてきます。

男は成す術もなく、あつと言う間に雪崩に呑み込まれてしまい……そこで意識は途切れてしまいました。

「で、気が付いたらアニマルスター？ とやらに居て……そこで水色の変な生き物になっておしっこをしている。しかもこれ、付いてない……」

何が付いてないのかは、ご想像通りと言う事で……。

「これ、一体何になってるの!?! 女の子!?! いや待ってそういう次元じゃない、まずそもそも人間じゃなくない!?!」

男だった者は自身の体の変化に気付いて、途端に慌て出します。

「いやいや落ち着け、慌て出す前にまずはおしっこを出すのが先だ……」

水色の変な生物は一旦冷静になり、トイレで済ませるべき事を終えました。

「ふー、とりあえずこっちはスッキリしたけど頭の中はスッキリしない。手洗い場に鏡あるよね？ どれどれ……？」

水色の変な生物は鏡を覗こうとしますが……。

「いや待って、そもそも手洗い場に届かない。これどうすればいいの？」

「あ！ やっぱり手が洗えなくて困ってるでしゅ。マントで浮かばいいのでしゅ」

「あ、さっきの変なの」

「変なのとは失礼でしゅね！ あたち、はなって言ったでしゅ！」

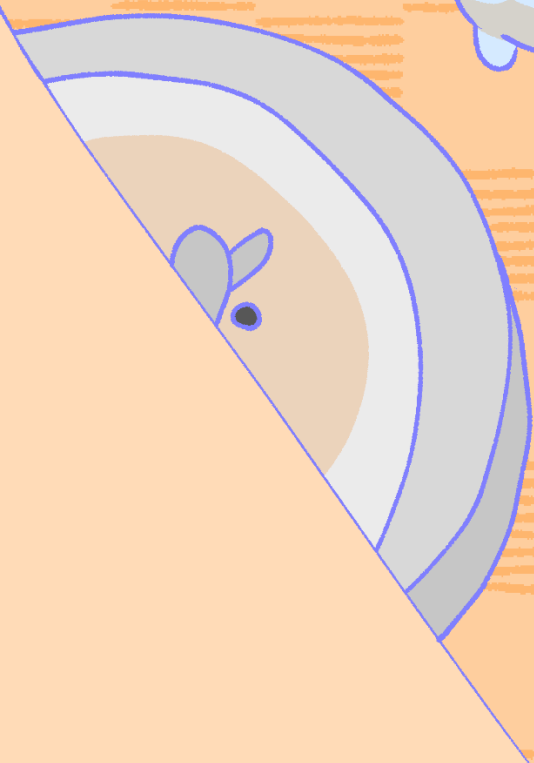
「ごめんごめん、はなちゃん？」

「そうでしゅ！ 多分ここに来たばかりで融通が分からないでしゅね？ ぴよんと跳ねる感じでジャンプしてみるでしゅ」

「跳ねる感じ？」

はなちゃんにそう言われて、水色の生き物は言われた通りぴよんとジャンプすると……。

フフッ...



「お、おお……浮いた!？」

「その為のマントなのでしゅ! さっ、これで手が洗えるでしゅよ」

「うん、まずは一旦手を洗っちゃおう。しっかり手を洗わないとダメなものね。感染症対策の基本だよな?」

「誰に言っているでしゅ?」

兎は不思議そうにきよとんとしました。

「お湯だ、温かい……さっきまで体中が凍る程冷たかったのに」

「あなた、何かあったのでしゅ?」

「え、まあこっちの話……僕、何だか凄く水色っぽい体してるんだね」

「水色で凍る程冷たかったって……きつとあなた、四季の冬のマスコットなのでしゅ?」

「冬のマスコット? 何それ?」

「あなたの事でしゅ。そういえば名前、何て言うでしゅ?」

「僕? 僕の名前は雪だよ」

「雪? ゆきちゃんでしゅ?」

「ちゃん、って。僕は男……でもなさそうだよな、これ」

ゆきちゃんと呼ばれた水色の生物。

ゆきちゃんは自分は男だ、と言い掛けましたが……。

「どう見ても女の子の猫ちゃんでしゅよね？」

「え、猫なの？ これ、猫なの！？」

「猫でしゅよ。猫以外の何だと言うのでしゅ？」

「変な生き物……としか。でもこれ、僕なんだよね！？」

「ゆきちゃんでしゅね」

鏡に映ったゆきちゃんははなちゃんと同じような体型で、だけど耳の造りは全然違っていて。

全く垂れてなく斜め上に伸びていて、はなちゃん程大きくもなく……そしてほっぺからは髭も2本生えていて。

「確かに言われれば猫かも。でもこんな水色の猫が居る訳」

「居るじゃないでしゅか。ゆきちゃんですしゅ」

「居るね、うん……確かに。でも夢でしょ？ これ。凄くリアルだけど」

「夢だと思うならそう思えばいいでしゅ。いつまでも覚めなかった時、頭がパンクするでしゅよ。なら今のうちにパンクさせた方がいいと思うでしゅ」

「確かに……やっぱり夢じゃないの!?!? これ、体型的に所謂TDMだよね!?!? 僕、メスケモTDMになっちゃった!」

「TDMってなんでしゅ?」

「低頭身デフォルメマスコット……まさに今の僕やはなちやんだよ!?!? しかもメスケモだよこれ!?!?」

「うん、メスケモはさすがにあたちでも分かるでしゅ。でもTDMなんて言葉、始めて聞いたでしゅね。いつの間にそんな言葉が出来たのでしゅ?」

「割りと最近じゃないのかな。まるで魔法少女のお供みたいな、そういうのをTDMと言う事が多く……」

そう聞くとはなちゃんはピンと来たようで。

「まさにその通りでしゅ! あたち達、魔法少女のお供となるマスコット候補生でしゅから!」

「え、えー!?!? ちょ、ちよつと! 僕、カッコいい正義感のある男なんだよ!?!? どっちかと言うとヒーロー志願寄りだよ!?!?」

「どう見ても女の子じゃないでしゅ? 寝ぼけてるでしゅか?」

「よりもよってヒーロー志願寄りなのに、メスになってしまった上に魔法少女のお供だなんて……」

「まあまあ、元気出すでしゅ。あたり、ゆきちゃんの事気に入ったでしゅ！」

「え、僕の事気に入ったの？」

「こんな可愛いのにヒーロー志願って、ギャップ萌えなのでしゅ！ あたち、惚れちゃったのでしゅー！」

「こんな変なのに惚れられたって嬉しくなんかないよ!？」

「変なのじゃないでしゅ！ はなちゃんでしゅ！」

ん。
アニマルスターで猫のメスケモTDMになってしまった、元人間の男のゆきちゃん。

さてはてゆきちゃんはこれからどうなってしまおうのでしょうか？



キャラクター紹介.. はなちゃん

アニマルスターの四季マスコット「春」担当の兎。

語尾に「でしゅ」を付けて喋るので幼いイメージを受ける。

それにも関わらず魔法は優秀で、春夏秋冬のリーダーを務めている。

兎の特性故なのか、好きになった相手に対しては発情しやすい。

ゆきちゃんに凄くお熱で、一方的に愛をばら撒いている。

 はなちゃん



あとがき

原作・キャラ原案…[ぷりん](#)

初めましての方は初めまして、サークルで主にノベル担当のぷりんです。

春夏秋冬☆アニマル転生のお試し版をお読み頂けまして、誠にありがとうございます。
ます。

略してアニ転のこのシリーズ、ともかくガチTDMに特化させてみました。

お試し版なのでコメも1P分に留めてみます。

作品誕生秘話等は製品版で書いてますので、ここでは割愛します。

アニ転はともかくTDM達が可愛い、明るめのお話を詰め込んでいます。

このお試し版をほぼ丸々漫画に起こした「[漫画版第1話](#)」も御座いますので、是非そちらもご覧になってみてください。

あと前作同様、諸事情によりまして縦書き特化意識の漢数字直し、「!？」の横並び化や、行間詰め処理はしていない仕様です、色々すみません。

宜しければ製品版も触れて頂けますと幸いです。ありがとうございました。

イラスト…[Adzuki](#)・

おはようございます。こんにちは。こんばんは。知ってる方はご無沙汰しております。初めましての方は初めまして。Adzuki。(あずき)です。

春夏秋冬(はるなつあきふゆ)☆アニマル転生、略してアニ転のお試し版をお読み頂きありがとうございます。

キャラで知った方もいるかなーと思います。実際4コマ漫画(このあとがき書いてる現在)は毎日更新してるので：

お試し版なのでどこまで言ったいものか分からないものなのでこれだけは言っておきます。

ゆきちゃんはめっちゃ可愛い。

うん。語彙力の欠片もないコメントですね。

[LINEスタンプ](#)も発売中です。[各種デバイス向け壁紙](#)、[SNS向けフリーアイコン](#)も配布中です。

もしお気に召されましたら是非今後ともアニ転をよろしくお願いいたします。

ではお試し版ではここまで！ 続きは1巻でお会いしましょう。したっけです。

ご注意

当データの無断転載はいかなる理由がございましたも禁止しております。

尚、作品紹介目的での表紙掲載・サンプルとして掲載されているデータ範囲内の転載につきましては引用と見做し、この限りではありません。

万が一作品内のデータを使用したい場合は、まずお問い合わせくださいませ。

尚、[サークル二次創作ガイドライン](#)を守った上で、キャラクターや作品に関するファンアート等の二次創作をして頂く分には問題御座いません。

文章・シナリオ・pdf制作…ぷりん

イラスト協力…Adzuki.

Copyright © 2021 [ぷりん](#) / [Adzuki.](#)

[サークル](#)…[魔法猫少女☆みるくぷりん](#)

All right reserved.